

令和7年度第3回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）
概要

日時 令和8年3月12日（木）13時45分から16時00分まで
場所 大阪府咲洲庁舎24階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）
案件 2件
審査委員 大阪商業大学大学院 地域政策学研究科
（敬称略） 大阪商業大学 総合経営学部 教授 太田 一樹（会長）
エタニティラボ 代表 中小企業診断士 岡崎 永実子
大阪公立大学大学院 工学研究科 教授 荻野 博康
摂南大学 経営学部 准教授 木下 和紗

【内容審査】

・府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - (1) 雇用の拡充
 - (2) 生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
 - (1) 経営基盤
 - (2) 経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - (3) 事業実績

加点項目

今後に向けた取り組み

【1】一富士ケータリング株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

- (1) 事業概要
 - 折詰弁当製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積
大阪府豊中市原田中／4961.12 m²／5149.00 m²
 - 補助対象経費／補助金額
約1,237,166千円／30,000千円
- (2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- (3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が25.25点（30点中）であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・100 億円企業を目指す上での戦略的な事業だと位置づけられる。審査項目の条件も概ね満たしていると判断している。ただ、現工場の位置づけについては未定だとのことなので、地域や雇用面も考慮した今後の計画を望みたい。
- ・新工場では様々な工夫を取り入れる予定であり、新たな受注と既存事業を合わせた効率的な生産体制の構築が期待できる。雇用創出が期待できるが、人材確保が重要な課題になると思われるため、稼働までに十分な準備および採用活動を行っていただきたい。
- ・豊中市中学校給食事業の受託が決まり、豊中市に新本社工場を整備する計画であり、今後の成長が期待できる。事業継続計画やカーボンニュートラルにもより積極的に取り組まれることが望まれる。
- ・事業実績を有し、経営基盤も安定している。また、審査対象企業は、給食やお弁当といった生産と消費の同時性の高い食品事業を展開しているがゆえ地域性はより色濃く出ると推察され、地域経済・社会への貢献も期待される。雇用については、審査で言及していた外国人材については来年の制度変更もあり、定着の側面では懸念もあるため、そうした点も考慮して雇用の確保・拡充について検討していったほうがよいと思われるものの、多様な人材、および雇用形態の活用を想定しながら計画を立てている。

【2】有限会社サカエ製鋸所による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

○金属製品製造業の工場の立地

○立地場所／敷地面積／延べ面積

大阪府東大阪市柏田西／937.58 m²／1074.24 m²

○補助対象経費／補助金額

約 296,888 千円／29,688 千円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**22.75点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・概ね審査項目を満たしている計画だと考える。企業規模が拡大するにつれ、組織体制の整備やリーダーの育成が必要となってくる。計画的に進めていただきたい。
- ・顧客からの増産の打診があり、本計画を実行することで更に優位性の強化にも繋がることから、企業発展につながると考えられる。また、大阪府や東大阪市の製造業の活性化および地域での雇用創出が期待できる。
- ・現在、製造ライン数に制限があり、多品種混流ラインになっており、生産効率が悪いが、工場を新設することにより、製造ラインの効率化を図る計画となっている。需要が見込める製品の製造への対応であり、今後の成長が期待できる。DX やカーボンニュートラルの推進にもより積極的に取り組まれることが望まれる。
- ・ベテランから若手への技能継承や、雇用の確保・拡充について想定している新卒採用および外国人材の雇用についてはより具体的な計画の策定が求められる。ただし、実現可能性をふまえた堅実な事業計画を立てており、新工場の設立により夜間も操業できる、従業員の交通の便もよくなるといったメリットが見込まれるほか、地域社会への貢献や若年層の採用に向けても積極的に取り組んでいる。また、取引先企業から重要な自動車サプライヤーとして信頼もされ、受注の拡大も見込まれることから今後さらなる成長が期待される。